

10月11月スケジュール

※予定は変更になることがあります。

あじさい(就B)

☆毎週木曜日14:00閉所

10月

8(水) ドリームまきのはら
販売(カネハチ)
18(土)伊藤園工場祭

11月

1(土)リカバリーへの道
6(木)ドリームまきのはら
販売(榛原庁舎)

竜巻の被害がありました。いろいろな方のご協力、
工夫しながら作業を再開しています。ありがとうございます。

牧之原市細江 701-4 TEL 0548-22-5529 FAX 0548-23-9340

きやらふる(就B)

☆毎週水曜日14:00閉所

10月

17(金)きやらふるミーティング
19(日)てけてけ隊感謝祭販売

11月

1(土)リカバリーへの道
2(日)金谷公民館祭り
8(土)グランドゴルフ交流会
17(月)きやらふるミーティング

★市役所販売 ※水曜日→木曜日に
変更になりました。
毎週木曜日11:45～12:30
〈帯桜口エントランスにて〉

★カフェいきちご
火～木……12:00～14:00
金………10:00～14:00
土日祝……11:30～15:00

遊びに来てね♪

島田市島 581-14 TEL 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

はぐるま(地活)

☆毎週木曜日15:00閉所

竜巻により被災したため窓ガラスが入る
まで閉所となります。再開の目途がたち
ましたらお知らせいたします。
尚、電話は復旧しましたので何かあれ
ばお問い合わせください。

牧之原市細江 701-4 TEL 0548-22-5529 FAX 0548-23-9340

ここカラ(地活)

☆毎週水曜日15:00閉所
☆開所日:月～金、第三土曜日

10月

1(水)AM市民後見人実習
2(木)13:30市民後見人実習
7(火)こころバス
9(木)11:00語ろう会
17(金)休み
18(土)こころバス/家族茶話会
21(火)14:30閉所
28(火)29(水)看護実習
30(木)サテライト

11月

4(火)こころバス
10(月)休み
15(土)こころバス/
家族茶話会
18(火)14:30閉所
20(木)サテライト

島田市島 581-14 TEL 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

らしく(就B)

☆毎週木曜日15:00閉所

10月

3(金)らしくミーティング
8(水)ドリームまきのはら
販売(カネハチ)
11(土)軒花屋台見学
12(日)一幡神社販売
18(土)伊藤園工場祭販売
21(火)14:15閉所

11月

1(土)リカバリーへの道
2(日)菅山ふるさとまつり販売
4(火)14:15閉所
6(木)ドリームまきのはら販売(相良庁舎)
7(金)らしくミーティング
12(水)SPランチ(榛原エリア)
15(土)JA農協祭販売
16(日)産業フェア販売
19(水)SPランチ(相良・島田エリア)
20(木)PM閉所

牧之原市菅ヶ谷 219-1 TEL 0548-52-7447 FAX 0548-28-6622

いなむ(就B)

☆毎週水曜日 14:00閉所

10月

3(金)旅行
(エスパルスドリームプラザ)
12(日)「てのひら市」にて販売
19(日)「バリアフリーてけてけ隊」参加
21(火)13:30閉所

11月

2(日)「金谷公民館祭り」
にて販売

島田市金谷中町 2100-1 TEL 0547-46-1687 FAX 0547-45-5165

【寄附のお願いについて】 ころは前身の特定非営利活動法人の時からたくさんの方々にご支援いただきながら活動してきました。このたび、寄附専用の口座を新たに郵便局に開設しました。郵便局の払込取扱票をご希望の方は郵送させていただきますので、ご連絡お願いいたします。

なお、寄附は所得税の寄付控除、法人税の損金算入の対象となります。

※寄付控除について必要となる領収書を送付させていただくため、振込後に法人本部までご連絡ください。

振込先：郵便局 ○八九店 (089) 当座 0191452

Social Welfare Corporation
KOKORO

ころあこ

発行元
社会福祉法人ころあこ
〒428-0007
静岡県島田市島581-14
TEL 0547-46-5561
FAX 0547-46-5566

台風15号による竜巻によって多くの方々が被災をされ、当法人が運営する榛原事業所（就労継続支援B型事業、地域活動支援センター、相談支援事業）も甚大な被害を被ってしまいました。発災時、島田市にある本部に第一報が入った時のスタッフの絶叫しながらの「榛原がめっちゃめっちゃです」という声は今でも私の耳に焼き付いています。スタッフ数名と駆け付けると様々報道されている通りの状況で、メンバー、スタッフが呆然と立ちすくみ、中には怪我をされた人もおり、「ほんとに死ぬかと思った」という言葉に、どれほどの恐怖の中にさらされたのかと思うと、私自身も恐怖を感じました。そんな中、同様に被災をした周囲の人からの気遣い合う言葉に励まされ、その後の片づけ等でもいろいろな形でご支援をいただき、人とのつながりが、絶望してしまいそうな気持ちにたくさんのエネルギーと勇気をいただきました。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

しかし、就労と地活事業は本格実施には至っておらず、再開までには時間がかかりそうです。その間、メンバーへの支援が途切れないように、様々な工夫をしながら取り組んでいるところです。

現在は、物理的な対処から精神的な課題であるメンタル面（急性ストレス性反応や不安感や絶望感からくる気分の落ち込みなど）のサポートが重要と考えています。被災された方々も同様だと思います。被災地域で活動してきた法人として、もともとの活動してきた強みを活かしながら、地域の皆さんと復興に向けて前に進んでいきたいと思っています。



ひさいちよくご はいばらじぎょうしょ かい
被災直後の榛原事業所2階



ひさいちよくご はいばらじぎょうしょ かい
被災直後の榛原事業所1階



ひさいちよくご はいばらじぎょうしょがいかん
被災直後の榛原事業所外観

地域活動支援センターはぐるま（みんなの居場所）

大きな窓ガラスからあたたかな日差しが差し込み穏やかな雰囲気
に包まれるはぐるま。あの日はその窓ガラスが全て割れてしまいま
した。命の危険を感じるほどの恐怖で声も出ませんでした。

今までメンバーとともにつくってきた多くの作品、みんなでテー
ブルを囲んで楽しんだドンジャラ、隣に並んで語り合ってきたソファ
ー…あれもこれも、私たちの心もぐちゃぐちゃになってしまいまし
た。どこかに飛んで行ってしまいました。片付けはするものの、気持
ちは整理がつかないのが現状です。

この先どうなるのか不安もありますが、メンバーにとっても、スタ
ッフにとってもはぐるまは安心できる居場所であり続けたいと思っ
ています。窓ガラスが入って、はぐるまが再開できたらまた一緒に
はぐるまをつくっていきましょうね😊

就労継続支援B型あじさい（働くところ）

あじさいの作業室では、ちょうど昼休みでご飯を食べた後ゆっくり
していた時間。窓が割れた瞬間、窓の近くにいたメンバーに「逃げ
て！早く！こっち！！」とスタッフが大声で叫びました。停電し暗
い中で何が起きたかわからないまま、事務所の机に隠れながらみ
んなに怪我がないか確認をして声を掛け合いました。

あの日をメンバーと振り返る中で、「予想もしてないことが起こっ
てまずい！と思った」「窓側に座っていたから怖かった。窓から離れ
て！と言われてすぐに動いた」「逃げる時に背中にガラスが当たり
痛かった」と声を聴きました。電話が繋がらない中でも仕事をいた
だいている会社には状況を理解いただき、今後の仕事内容につい
ても相談に応じていただきました。

毎日当たり前のように仲間と顔を合わせて作業できていた日々。今
は法人内のらしくや喫茶、被害がなかった倉庫などそれぞれの場所
で作業しています。働く場所はバラバラだけどお互いを心配し合い
ながら、できる作業を一人一人のペースで頑張っています。できる
だけ早く前の通りあじさいの作業室で作業したい！みんなその想
いが強いです。

相談室こころ（いろいろなことを相談できるところ）

発災後、変わり果てた事業所。自分の担当している方は大丈夫だろ
うかと電話をかけようとしたものの電話線が切れており不通。なら
ば直接訪問をと車に乗ろうとしましたが、車の窓ガラスが割れ
使用できない公用車。関係機関に協力を依頼しながら何とか安否
確認をしました。訪問先では地域の方々が片付けを手伝ってくれた
り、声掛けをしてくれたりと本当に多くの方が“誰か”のために必死
になっていました。避難所に行かず今にも壊れそうな自宅で過ごす
方、避難所を選択した方、入院した方、被災はしていなくても心配
してくれる方、慣れない環境でなんとか生きる姿がそこにはあり
ました。

緊急事態になり、本人、家族、関係機関、地域との普段からの繋が
りの大切さとありがたさを私たちは痛感しています。地域にある
事業所の相談員として今何ができるのか。今までもこれからも考え
つづけていきます。

